

第3回 DIA Health Economics and Outcomes Research (HEOR) ワークショップ (旧 DIA HTAワークショップ)

ポストCOVID-19に向けて ～疾患構造の変化と、真に適正な資源配分とは

2020年10月1日(木) 9:30～13:00
Web開催 (Zoom Webinar)

プログラム概要

世界的に蔓延した新型コロナウイルス (COVID-19) は、医療スタッフ、病床や呼吸器などが不足する事態を引き起こし、現場では患者に優先順位を付けた治療 (トリアージ) が強いられました。つまり、私たちは、COVID-19感染によってパンデミックの脅威と、医療資源は有限だという現実を目の当たりにしたともいえます。

日本人の死因の上位は、戦後、感染症から生活習慣病へ、近年はがんが多くを占めるようになってきました。そういった背景から、がん治療は目覚ましく発展していますが、画期的な新技術は高額となり、注目を集めてきました。抗がん剤以外でもアルツハイマー病や希少疾病の高額な新技術に焦点が当たる中で、新技術の費用と効果を評価するために、海外では医療技術評価 (HTA) が活用されており、日本でも一部、薬価調整に用いられています。一方で、HTAのもとで、海外では効果があっても費用負担が大きすぎる場合は使用を推奨しない、あるいは、効果が最も期待できる一部の患者にだけ投与が推奨されることがあります。患者中心の医療という視点から、改めてこうした論点を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。また、資源配分の視座を高くして、新たなパンデミックに備えた感染症の研究基盤整備、ワクチンなどの予防医療による財政影響、あるいは医療資源 (スタッフや病床) に投資すべきという論点も重要です。

そこで今回、DIAでは、疾患構造が変化するなか、私たちは「命の価値」をどのように考えて資源配分すべきかを議論する場として、第3回HEORワークショップを企画しました。医薬品・医療機器企業のHEOR、臨床開発、薬事、マーケティングや薬価担当の方々など、多くの方に共通したこの重要な課題について、様々な視点から議論しませんか。ご参加をお待ちしております。

参加対象者

このプログラムは下記に従事されている方に特に有益です。

- | | |
|------------------|-----------|
| 製薬企業・医療機器企業 | 中央官庁・規制当局 |
| ・ メディカルアフェアーズ担当者 | 研究者 |
| ・ アウトカム研究担当者 | ・ 医療経済学者 |
| ・ 薬価担当者 | ・ 疫学研究者 |
| ・ 開発担当者 | ・ 臨床研究者 |
| ・ 薬事担当者 | |
| ・ 安全性担当者 | |
| ・ 経営戦略担当者 | |

※会の終了後も講演動画をWEB上でご視聴いただけます。
(公開後2週間予定)

後援: ISPOR日本部会

講演及びディスカッションはすべて日本語資料及び日本語のみで行い、通訳はつきません。



DIA Japan
Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Fax: +81.3.3278.1313 Email: Japan@DIAGlobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India



プログラム委員長

塩野義製薬株式会社
廣居 伸蔵

プログラム委員

大塚製薬株式会社
小串 健太郎

バイエル薬品株式会社
中村 祐輔

中外製薬株式会社
大野 慎也

日本イーライリリー株式会社
佐藤 昌代

ノバルティスファーマ株式会社
宇田 晃仁

慶應義塾大学
漆原 尚巳

塩野義製薬株式会社
吉田 真奈美

プログラムアドバイザー

神奈川県立保健福祉大学
坂巻 弘之

一般財団法人 機械振興協会
昌子 久仁子

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAGlobal.org

9:30-9:40 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン

西條 一

プログラム委員長／塩野義製薬株式会社

廣居 伸蔵

※WEB講演のため、講演時間が多少前後する可能性があります。

9:40-10:00 総論

座長

国際医療福祉大学

池田 俊也

なぜ今、医療資源の適正配分なのか

横浜市立大学／東京大学大学院

五十嵐 中

コロナの時代に入って以降、医療資源の最適配分論はこれまでの「お金からのアプローチ」から「モノ・ヒトからのアプローチ」へと転換を遂げた。言い換えれば、「医療資源を逼迫させないこと」そのものが価値を持つ時代になりつつある。「医療技術の価値とは何か？」という疑問に答えるための1つの手段として費用対効果評価があるが、「費用対効果・ICERのみが価値である」という考え方からICER以外にも価値の要素はあり、価値評価の揺り戻しが起こっている。転換期にあるHEORのあり方を考えてみたい。

10:00-10:45 講演の部

座長

国際医療福祉大学

池田 俊也

10:00-10:30**なぜHTAの具体的適用が国ごとに異なるのか？****ーグローバルなプラットフォームの形成のためにー**

京都先端科学大学

西村 周三

欧米と日本との薬価政策は、それぞれの国の事情をふまえて、かなりの差異がある。他方で、薬価に関するHTAのあり方は、国によって大きく異なる点は少ないと思われ、医療政策のあり方の違いが薬価の差異を左右しているように見える。しかしその現状を知ることのみに終始しては、グローバルな視点から各国の政策の調和をはかるための共通基盤は見いだせない。今回の講演では、「アプレイザル」と「HTAのためのデータ整備のあり方」を考え直し、グローバルな議論を行うための提案を行いたい。

10:30-10:45 ショートブレイク

第17回 DIA 日本年会 2020
イノベーションの先にあるもの
Beyond Innovation
2020年11月8日(日)-10日(火)
Web開催
DIA

※WEB講演のため、講演時間が多少前後する可能性があります。

10:45-11:45 講演の部 (続き)

10:45-11:05

高額医療と医療資源配分における倫理的課題

岡山大学大学院

齋藤 信也

近年、新規免疫療法や遺伝子治療など、高い有効性を示す新技術に注目が集まっている。しかし一方でこれらの医療技術は非常に高額であり、このままでは医療財政が破綻するのではないかという悲観論も根強い。このように限られた医療資源配分の適正化を図るツールとしてHTAがある。HTA特に費用効果分析の結果を償還の可否判断に用いている国では、「命の価値」といった先鋭な倫理的問題が表面化しがちであるが、幸い我が国では、これを医薬品・医療器機の価格調整にしか用いないことが明言されている。しかしそうであっても、高額医療や医療資源配分における倫理的課題は多く残されており、本ワークショップで検討するに値するものと考えている。

11:05-11:25

社会保障を揺るがすヒューマニズム

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

後藤 悌

グローバル化の波は医療にも押し寄せ、新薬の開発とその承認はグローバル研究に基づくことが多くなっている。しかし、その後の実地臨床における導入は、各国の社会保障制度に大きく依存している。日本では製造販売の承認とともに、保険での償還が保証される。臨床試験の結果によって承認されるものの、その相対的価値は十分に議論されているとは言えない。他国では、薬剤費と効果から償還の適応を決めたりすることで、治療の価値を評価し、限りある医療資源を公平に分配している。日本では、医療資源の総量規制がマクロでは議論されているものの、臨床現場ではヒューマニズムを追求し、世界に類をみない、規制の緩やかな医療が実施されている。

11:25-11:45

費用対効果評価における結果の不確実性をどう捉えるか

横浜市立大学/国立がん研究センター東病院

山中 竹春

全体集団に対する検討のみならず、疾患進行度やリスク因子などの患者特性に応じた「サブグループ」で費用対効果評価を行い、得られるサブグループ毎のICERに基づいて、より精密な価格調整を積極的に志向すべきかどうか。これは結果の不確実性をどこまで許容するかという問題にもつながるが、この点について導入的な議論をしたい。たとえば、HTA機関として著名な英国NICEでもこの点に関するアプローチは一貫しているわけではなく、時期に応じて変化が見られる(NICE, 2013)。データのほじくり返し(data dredging)が招く統計的過誤の上昇を防ぎつつ、生物学的あるいは社会的に妥当な因子による費用対効果評価の精緻化をどう推し進めていくかは本邦でも議論すべき時期に来ている。

11:45-12:00 ショートブレイク

12:00-12:50 パネルディスカッション

座長

国際医療福祉大学

池田 俊也

パネリスト

本ワークショップの全ての講演者および

バイエル薬品株式会社

相徳 泰子

12:50-13:00 閉会の挨拶

慶應義塾大学

漆原 尚巳

一般財団法人 機械振興協会

昌子 久仁子

DIAのプログラムにて発表される内容は発表者本人の見解であり、所属する組織あるいはDIAのものとは限りません。プログラム及び講演者は予告なく変更される場合があります。書面による事前の合意なく、DIAのプログラムの情報を録音もしくは撮影することは、いかなる形態であっても禁止されています。

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第3回DIA Health Economics and Outcomes Research (HEOR) ワークショップ [カンファレンスID #20310]

2020年10月1日(木) | Zoom Webinarによる開催

◆参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAGlobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付 Japan@DIAGlobal.org にてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆参加費用 (該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費

現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

**アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 17,500 (税抜)	¥ 19,250 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 31,500 (税抜)	¥ 34,650 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 12,000 (税抜)	¥ 13,200 (税込)

②参加費

所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会 員	一般	早期割引:2020年9月17日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 14,500 (税抜)	¥ 15,950 (税込)
		2020年9月18日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 16,000 (税抜)	¥ 17,600 (税込)
非 会 員	政府関係 非営利団体 大学関係 医療従事者	早期割引:2020年9月17日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 6,800 (税抜)	¥ 7,480 (税込)
		2020年9月18日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 7,500 (税抜)	¥ 8,250 (税込)
非 会 員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 20,500 (税抜)	¥ 22,550 (税込)	
	政府関係/非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 12,500 (税抜)	¥ 13,750 (税込)	
	大学関係/医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥ 9,000 (税抜)	¥ 9,900 (税込)	

③合計金額(①+②): 合計 _____ 円

*最終確定金額は、DIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

※ ISPOR日本部会の会員の方は、会員価格にてご参加いただけます。該当する場合、□にチェックして下さい。

ISPOR日本部会会員

◆お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(いずれか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名または請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面に参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) Company

Job Title Department

Address City State Zip/Postal Country

Email (必須) Phone Number (必須) Fax Number

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、**会期28日前にあたる2020年9月3日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。**同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。必要に応じて、スタッフが本人確認をさせていただく場合がございます。

* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含むワークショップ内の映像・写真・動画を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

【DIAが取り扱う個人情報について】お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。